

12 天城遊歩道

天城山に降った雨は本谷川を流れ、猫越川と湯ヶ島温泉で合流して狩野川となる。天城遊歩道はその少し上流、本谷川にかかる瑞祥橋を起点として、上流の伊豆一の名瀑・浄蓮の滝までのおよそ3.5kmの自然遊歩道である。

修善寺駅から昭和の森会館行き、河津駅行き、湯ヶ島温泉行きのバスで29分、湯ヶ島温泉口で下車。元旅館「雲閣」の跡を通り国道から右に少し急な坂を下り瑞祥橋を渡った所がこのコースの起点である。真つすく行くくと湯ヶ島温泉・世古峠方面。

案内板を見て舗装道の緩い坂を上る。左下に風情あるつり橋(向山橋)があるので、ちょっと寄り道して



▲水恋鳥広場近くのダム

こう。ここも「湯道」(22頁参照)のコースの一部となっている。真つすく緩やかに上って大滝梅園への分岐を左に行く。元民宿まのこ荘の道を通ると舗装道の終点。左に細い道を下れば本谷川の河原に出る。前方に大きなダムが見える。ダムの鉄階段を上って降り、木の小さな橋を渡ると水恋鳥広場。親水公園となっていて、夏には水遊びを楽しむ家族連れで賑わう所である。広場の一角に与謝野晶子の歌碑がある。昭和10年船原温泉に滞在し多くの歌を残した内の一首。

「伊豆の奥 天城の山を夜越えぬ 淋しき事になれはてぬれば」
カエデが植栽された道を行き、車止めを過ぎると広くなる。数軒の民家を抜けて進むと右手に発電所が見える。



▲五所平之助の句碑

岩尾ダムの大きな壁にぶつかり左にダムを越えて川沿いに上る。丸太木橋の橋を渡り滝木の繁る山道を上ると国道に出る。バス停「天城山荘」の所である。横断歩道を渡り石段を上ると石仏の白い碑がある。シカの角のような形をした白い碑がある。映画「伊豆の踊子」の第一回監督であった五所平之助の句碑である。

「踊子」といへば朱の櫛あまぎ秋の句が刻まれていて、裏には歴代「伊豆の踊子」に主演した女優の名前が連記されている。

浄蓮の滝には女郎蜘蛛の民話がある。滝の近くで野良仕事をしていたおじさんが、一服していると、どこからか一匹のクモが現れ、足にクモの糸をかけているのを見つけた。何をしているのか、特に気にしていなかったが、しばらくしてふと見るとまたまた現れては何度も糸をかけていた。そろそろ仕事にかかるかとクモの糸を近くの大木にひっかけて野良仕事を続けていると、滝の方からバリバリドーンという音がした。近づいてみると何となく大きな木が滝に引き込まれていた。おじさんはびびり、野良仕事もそこで家に帰ったという。

コースタイム(参考)

| | | | |
|--------|-----|--------|-----|
| 修善寺駅 | バス | 湯ヶ島温泉口 | 5分 |
| 湯ヶ島温泉口 | バス | 修善寺駅 | 29分 |
| 瑞祥橋 | 5分 | 湯ヶ島温泉口 | 5分 |
| 水恋鳥広場 | 15分 | 湯ヶ島温泉口 | 5分 |
| 天城山荘 | 20分 | 湯ヶ島温泉口 | 5分 |
| 浄蓮の滝 | 10分 | 湯ヶ島温泉口 | 5分 |
| 修善寺駅 | バス | 湯ヶ島温泉口 | 35分 |

往復15分 | 浄蓮の滝

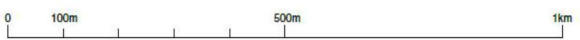
所要時間：約1時間5分



▲浄蓮の滝



▲伊豆の踊子像



狩野川の上流・本谷川沿いに延びた自然探索遊歩道

料があるので興味ある人は寄ってみるとよい。

うっそうとした樹林を下ると柱状節理の岩にかかる高さ27m、幅7mの浄蓮の滝。石川さゆりが歌う演歌「天城越え」の歌碑もある。滝の岩肌に乗っけているのは天然記念物のハイコモシタダ(ジョウレンシタダとも言う)、分布の最北端といわれている。

- 第一回 昭和8年 田中絹代
- 第二回 昭和29年 美空ひばり
- 第三回 昭和35年 鶴岡晴子
- 第四回 昭和38年 吉永小百合
- 第五回 昭和42年 内藤洋子
- 第六回 昭和49年 山口百恵